

平成22年度遠野市介護保険特別会計補正予算（第1号）の要領

1 保険事業勘定

歳入歳出にそれぞれ 4,625千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 2,899,679千円とする。（当初予算比較で、0.16%の増）

前年度歳入歳出差引額を繰越金として歳入増額すること及び給付実績に基づく介護給付費の精査等に伴い、歳入歳出各項目について精査し調整を行う。

歳入では、介護給付費等の確定に伴う前年度精算交付分として、3款国庫支出金 1,842千円の増、4款支払基金交付金 5,143千円の増、5款県支出金 2,674千円の増とする。

7款繰入金は、介護給付費の市公費負担と事務費負担分等について、前年度精算による当年度返還充当により21,950千円の減とする。

歳出では、1款総務費において職員人件費の精査により 438千円の減、2款保険給付費では給付実績に基づく精査により科目間での調整を行う。

5款諸支出金において、国庫補助金の返還精算による償還金と介護保険料還付金 2,545千円の増とする。

2 介護サービス事業勘定

歳入歳出にそれぞれ 1,274千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 12,373千円とする。（当初予算比較で、11.5%の増）

前年度歳入歳出差引額を繰越金として歳入増額すること及びサービス事業費の精査等に伴い、歳入歳出各項目について精査し調整を行う。

歳入では、1款サービス収入 305千円の増、2款繰入金 702千円の増、3款繰越金 267千円の増とし、歳出では1款サービス事業費 1,274千円の増とする。